

苫小牧市東開文化交流サロンの概要

施設の名称：東開文化交流サロン

所在地：苫小牧市東開町2丁目12番22号

規模：延べ床面積：1,174.66㎡ 木造平屋建て

開設者：苫小牧市（所管 福祉部総合福祉課）

開設日：令和4年12月1日

運営管理：指定管理者「Social Library Platform 東開町」

※「社会福祉法人ゆうゆう」と「(株)図書館流通センター」のコンソーシアム

設計者：株式会社渡辺建築設計 苫小牧本社



北海道福祉のまちづくり賞

主催：北海道

部門：公共的施設部門

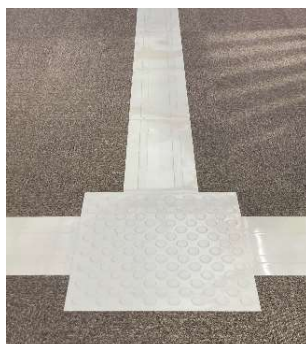
受賞理由：利用者の安全のための配慮が至る所に見られる施設である。

設計にあたり、当事者の意見を大切にし、館内デザインと調和した点字ブロック、非常時には避難誘導にも活用されるデジタルサイネージ、天井に設置したフラッシュランプなど、福祉分野と建築分野が連携して、バリアフリーへの配慮をしたことなどが評価されている。

また、館内に見守り支援員を配置しており、利用者の安全確保や困りごと対応、コミュニケーションの場としても役に立っているほか、親子で来館した際にも安心感があり、ハード面のみならずソフト面ともに細やかな点まで利用者目線で配慮されており、これから計画される施設の整備に大変参考となる。



【デジタルサイネージ】



【点字ブロック】



【見守り支援員】

施設の主な機能と平面図

- 1 多目的ホール (193.32 ㎡)：貸室。会議や軽運動などに利用できる。
- 2 パブリックスペース (60.87 ㎡)：貸室。キッチン、ダイニング、テラスを備え、茶会や料理教室などに利用できる。
- 3 図書スペース (342.21 ㎡)：蔵書数は 2 万 8 千冊を揃える予定です。中央図書館とシステム連携を図り、取り寄せ、返本受付などができる。
- 4 絵本ホール (81.29 ㎡)：絵本その他、ハンモック、クライミングウォール等の遊具を設置している。
- 5 カフェ (49.42 ㎡)：店内調理で飲み物とスイーツを提供している。

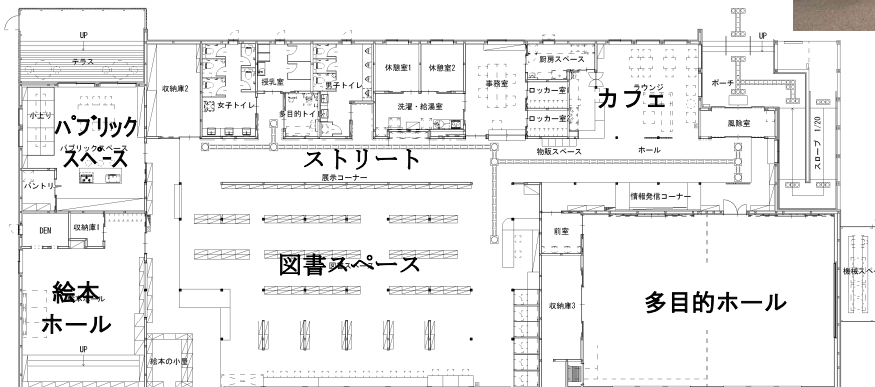
パブリックスペース



ストリート



カフェ



絵本ホール



図書スペース



多目的ホール



共生型地域福祉拠点としての取り組み

共生型地域福祉拠点とは、地域の関係機関と連携し、様々な既存の資源も活用しながら、高齢者や障がい者、子ども等が、地域住民とともに集い、交流し、互いに支え合いながら、安心して生活できる「場」を指す。

共生型地域福祉拠点として機能するようコーディネーターや見守り支援員を配置し、積極的に地域活動を促進していく。